

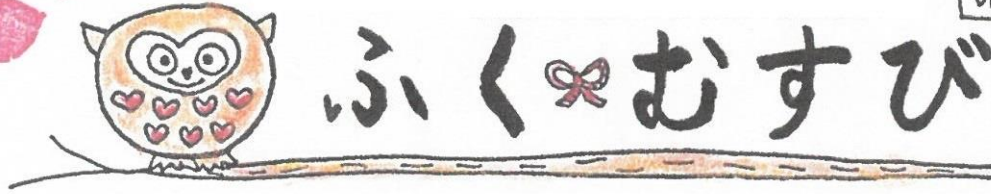
マスコットキャラクター

『ふくまる』

2023年  
4月号

地域とあなたと私を結ぶ定期便

VoL.64



発行元:公益財団法人復康会 社会復帰事業部

〒410-0811 沼津市中瀬町 17 番 11 号 TEL 055-931-0510 FAX 055-934-1697

## 開所 20 年が過ぎました

日頃より当事業所に対しますご理解・ご協力ありがとうございます。

平成 15 年 4 月に「地域生活支援センターなかせ」として開所し、20 年が過ぎました。この間、多くの利用者・関係者の皆様のご支援を賜りましたことを改めてこの場を借りて深く御礼申し上げます。

さて、この 20 年間法制度の変化に伴い大きな影響を受けたことは、当事業所に限らず地域の障害福祉サービス事業所、ひいては社会全体が様変わりしたこととも連動していると言ってもよいのではないのでしょうか。

急に個人的な話となりますが、私の娘と兄は左利きです。二人の違いは鉛筆や箸を持つ手が異なることです。つまり右手を使うよう矯正されたか否かです。二人の間には約 40 年の開きがあります。この 40 年の間にこの利き手に対する考え方は徐々に変わっていったのだと思います。しかしこれは明確な根拠があって何かしらの指針のようなものが養育する者に対して示されたものではないと思います。

急激的な変化はそれに対する拒絶も含めた反応を生み、一方で明確な線引きがないものは混乱を生む可能性があります。漠然とした曖昧なものは非常に分かりにくいものですが、変化は時間をかけて徐々にしていき、気づいた時に振り返るとその形になっていたという方が自然であり、中長期的な視点に立つと定着するものだと思います。何事においても変化は必要でありアップデートを繰り返していくものだと思いますが、法制度や仕組みを運用するのは結局人間です。数年後を見越した形でその変化のきっかけを作ることの責務を、20 年後の当事業所に関わる仲間に対して目まぐるしく変化する日々の中強く感じています。

今後共ご指導・ご協力よろしくお願い申し上げます。

令和5年4月吉日

サポートセンターなかせ センター長 鈴木伸二



## ゆめワーク

3/24（金）くぬぎ会館にて「伊豆の国市春の小学生福祉体験講座」が行われました。ゆめワーク職員が講師を務め、「MHSW と謎解きゲーム！？～ここらについて考えよう！～」をテーマにお話しさせていただきました。脳の仕組みやストレスに関するクイズなど参加型で行い、小学生にメンタルヘルスの大切さについて知ってもらえる良い機会になりました。参加賞のゆめワークパンをもって大喜びする子供たちを見て、私たちも嬉しい気持ちになりました。

（武井 紗知）



## ワークショップ まごころ

クオーレでは季節限定のゼリーである『あまなつゼリー』の販売が始まりました。甘夏の収穫時期は1～3月ですが、熟成して甘みが強くなるのは4～6月といわれています。そのためこれからが甘夏のシーズンとなります。夏に向けて徐々に暑くなっていくこれからの時期にぴったりの商品です。酸味が強すぎないので小さなお子様にもおすすめの商品です。

ぜひこの機会に一度ご賞味ください。

（上柳 光）



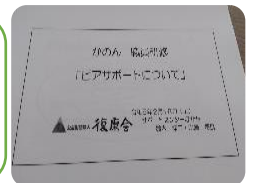
## かのん

2月28日、サポートセンターなかせの鈴木さん、ピアスタッフ山崎さん講師による「ピアサポートについて」の事業所内研修を行いました。ピアサポートの現状や実際に活動されているピアスタッフの話をお聞きいただき、専門職からのアプローチだけでは限界があることを知りました。ピアサポーターだからこそ話ができることもあり、今後は協働しながら、より良い支援を目指したいと思いました。

（本田 幸江）



講師の鈴木さんと山崎さん！



## コーポ狩野

2月22日（水）、コーポ狩野では防災訓練を行いました。今回は水害を想定し、利用者・スタッフの皆で3階のコミュニティホールに避難。その後、動画やプリントを使用して防災について学びました。狩野川に隣接するコーポ狩野…大雨や台風の時には川の増水が気になります。いつ、何を持って避難したらいいのか、命を守るためにどうしたらいいのか… スタッフも一緒に考えるいい機会になりました。

（上原 慶子）



## なかせ



やりました！WBC、侍ジャパンがアメリカを下し見事世界一を奪還しました！！自身の所属チームを大切にしながら、業界全体のことを考え共通の目標に向かって仲間と共に戦い代表で得られた貴重な経験をまた自分達のチームに戻ってそれを活かしていく。私たちの業務に置き換えて考えてみると、これは自立支援協議会の考え方に似ているのではないかと日本が勝ち進んでいく試合を観戦しながら勝手に考えていました。個人の取り組みではどうにもならないことでも、同じような課題意識をもった他所属機関の方々と協働することは学ぶことも多く非常に刺激にもなります。その意味では、大きな枠組みで活動していくことは所属・目の前の業務にとっても非常に価値のあることだと思います。（鈴木 伸二）

## ひまり



14日（火）、令和4年度駿東田方圏域自立支援協議会専門部会地域移行部会研修に、講師として参加しました。久しぶりに皆さんの前で話をする機会だったため緊張しましたが、日頃行っている地域移行支援を私自身も振り返る機会となり、良い時間を過ごしました。研修では、市町や医療機関、相談支援事業所等と共に、地域移行支援の流れや各機関の動き、支援体制作りについて振り返りました。今回の発信が、地域移行支援を改めて考え、実際の支援に活かすきっかけになればと思います。（山田 典子）

## りりぶ

14日（火）、センターにて防災訓練を行いました。今回は火災を想定して消火器の使い方や避難・通報の方法について動画や資料で復習しました。その後、センターの入っているビル内を参加者と見て回りながら消火器の位置や避難経路を一緒に確認しました。振り返りでは「自宅に消火器があるがあまり点検していない」という意見がありました。使う状況がないのが一番ですが、いざという時のためにも定期的な点検や非常時の動きを確認することが重要だと改めて感じました。（伊藤 悠美子）

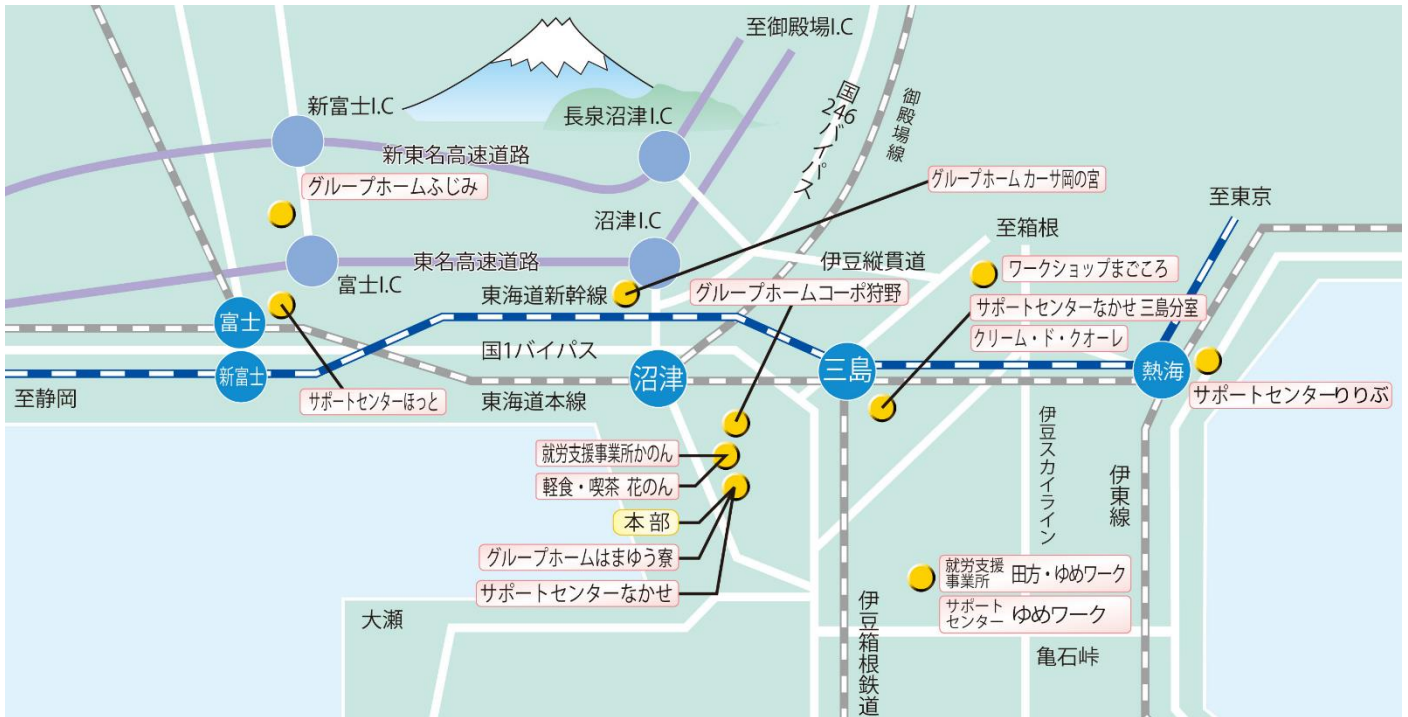


## ほっと

3月16日に相談支援連絡会にて「就労定着支援について～事例から考えること～」に参加しました。会では事例を通して相談支援専門員の視点や連携、現状どのように支援をしているのかを参加者にも聞きながら学びを深めました。自分自身も支援に疑問があったため、事例や現状の話聞くことで振り返ることが出来ました。今後は、利用者さんや就職先、事業所に還元できるような支援を考えたいと思います。（望月 典子）



## 社会復帰事業部施設MAP



**サポートセンターなかせ** 沼津市中瀬町17-11 TEL055-935-5680

**サポートセンターりりぶ** 熱海市田原本町9-1 熱海第一ビル2F TEL0557-82-5680

**サポートセンターゆめワーク** 伊豆の国市田京1259番地の294 TEL0558-75-5600

**サポートセンターほっと** 富士市日乃出町165-1 サンミック静岡ビル104 TEL0545-32-8160

**サポートセンターひまり** 三島市一番町7-19 高野ビル4F TEL055-991-1180

**グループホームカーサ岡の宮** 沼津市岡宮612番1号 TEL055-935-5680  
(サポートセンターなかせ)

**グループホームはまゆう寮** 沼津市中瀬町17-11 TEL055-935-5680  
(サポートセンターなかせ)

**グループホームふじみ** 富士市厚原1138-6 ムーンビームス TEL0545-32-8160  
(サポートセンターほっと)

**グループホームコーボ狩野** 沼津市中瀬町24番1号 TEL055-933-1038

**就労支援事業所かのん** 沼津市中瀬町19-20 TEL055-933-8500  
(軽食・喫茶花のん) 沼津市中瀬町18-28 TEL055-933-8502

**ワークショップまごころ** 三島市宇エビノ木4745-456 TEL055-985-2666  
(クリーム・ド・クオーレ/作業所) 三島市一番町7-19高野ビル1F/2F TEL055-976-9000

**就労支援事業所田方・ゆめワーク** 伊豆の国市田京1259番地の294 TEL0558-75-5600

### 編集後記

本年4月、サポートセンターいとう（現りりぶ）、サポートセンターなかせが共に20周年を迎えました。開所時に生まれた人が社会人となり復康会に入職、なんてこともありかと思えると「年を取るわけだ」なんてベテラン職員の声が聞こえそうです。

ふくむすび編集部